京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金拾五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社
京城西署西小門通（電話六六三）

雜録

漢城より　北韓山生

▲傳ふる處に依れば、國民黨政務調査會の韓國問題に關する調査方針は、先づ韓國民現在の租稅能力如何、鐵道、港灣、給水及學校の現狀、並に保護獎勵を要する產業の種類、中央及地方の行政組織等の諸問題を研究し、主として帝國の對韓經費を節約するの目的を以て調査を進行すべく、而して合併問題韓皇室、兩班の處分等は當分右調査會の問題に上らざる氣に御座候、

▲吾等は叙上の諸問題を調査することを以て頗ぶる要領を得たるの擧と信じ候、併しながら調査の結查が果して效果を濟すべきや其の帝國の對韓經費を節約するの目的を以て調査すといふに於て疑問以上たるを覺へ候、

▲租稅能力如何、今にして苛斂に過ぎたりといふに非らずや、鐵道の事は既に書く世に紹介せられたるに非らずや港灣、給水未だ曾て加ふる處有る無しと云ふを得べし、學校の現狀も、將た保護獎勵を要する諸種の產業も、苟も之れを放棄し若くは撲滅を企つるに非らざるよりは其目的に副ふべき調査の訊され得べしとは思はれず、吾等は唯一行政組織の調査が何ものかを彼等に分與すべきを信ずるのみに候、

▲然は云へ吾等は彼れを要領を得たるの擧と云ふ、即ち他に在らざる也、彼等は政治家と稱する彼等の須らく知らざるべからざる事項を羅列せるが以なり、其の目的の如何は姑らく措き、先づ彼等に識らしめて而して後、躁すべき仕事も甚だ多く候、

▲最後に最も要領を得たるは合併問題韓皇室及兩班の處分等は調査會の問題に上さずてふ事なり、是等は眞に要領を得たりと申すべく候、

▲龍山の元老金井某氏曰く、龍山の發展を計らんとならば、鐵道管理局の用地にして現に邦人に貸下げられつゝある區域を韓人にも貸下ぐるが可し、然も無くば龍山の發展は當分覺束なしと實理由を列擧して頗ぶる肯綮に中る、而かも茲に其理由を列擧するに及ばずして、讀者は其主たる理由を推知さるゝならん、吾等は龍山のみを云はず、總てに對して如斯意見を是認するものに候（十四日）

雜報

日露協約と獨逸

日露新協約成立の結果東洋に於ける米國の企畫に一大影響を及ぼすものあると共に歐洲に於ては獨逸をして國際上益々逆境に沈溺せしむるに至るべし抑々日露戰爭前獨逸は露佛同盟を以て有害なる眼上の惡瘤と爲し國威伸長の必要上先づ實力ある露國の勢力を歐洲より驅逐し去らざるべからずと爲し露帝を慫慂するに例の黃禍論を以てしたるる結果露國は其の全力を極東に傾注し遂に日露の大戰を見るに至りたるが一敗地に塗れて極東の施設は全然畫餅に歸し去ると共に歐洲に於ても亦昔日の勢威を失墜して露佛協約も半ば其の効力を失ふに及び隨つて澳國のボスニヤヘルチエゴビナ二州の合併にも露國は遂に施すべき策なきの悲運に陷りたり此の一事は獨帝をして私かに快哉を絕叫せしめたらんも爾來露國は痛烈に獨國を怖惡するに至り佛國も亦歷史的關係以上益々獨逸を敵視するに至らしめたる結果露國は最早や極東の爲めに從來の如き費用と努力を費やすの必要なく移民其他專ら平和的施設のみに安んずるを得るに至りたれば爾今其の勢力を歐洲方面に集中して再び戰前に等しき勢力を歐洲の國際界に挽回すべき曙光を認むるに至れりこれ佛國の輿論が相一致して新協約の成立を歡迎する所以にして同國は英佛英露の協約と相俟ち露佛同盟をして再び昔日の如き有效確實のものたらしめ列國相運衡して獨逸の野望を積極的に抑壓せん熱望の存する結果なりされば如上の情勢を看破したる獨逸皇帝は其の到底當るべからざるを悟り今回徹頭徹尾溫和主義の外交家として目されたる外相シエン氏は職を免じ新たに駐佛大使の職に任じて以て漸く變調に傾かんとする獨佛關係を親和せしめ暫らく三國連衡の硬度を微弱ならしむると共に一方歐洲外交界の趨勢を觀望しつゝ私かに捲土重來の妙策を講じつゝあるに似たり此一事は同帝が英帝大葬の際に彼佛國外相ピション氏に試みたる歐洲の平和大同盟云々の言說に徵するも明にして同帝は現時如何に佛國の歡心を求むるに急なるかを知るを得べしと想察せらる然れども獨逸は國際上依然として孤立の狀態を脫する能はざるべきは勿論彼の三國同盟の如きも將來至大の効果あるべしとも信せられざるに歐洲に於ける英佛露と東洋の日本とは或は同盟に或は協約に親善密接の關係を加へたれば此間何等乘ずべき間隙なかるべしと云ふ

寄書

潮州丸乘組員に答ふ　島重治

京城新報第四百五十三號寄書欄に潮州丸乘組員なる名を以て韓國燈臺の不取締なる記事あり要は二三燈臺の光力頗ぶる微弱なるものあり必覺燈臺看守の怠慢に歸因するものなりとの意なるが如し

抑韓國に燈臺建設の事起りしは極めて近來の事にして今日の如き船舶交通の情態に伴ふには少數の光力過大なる燈臺を設けんよりは寧ろ標識とするに差閊なき程度のものを一個たりとも餘分に配置するの必要あり故に既設燈臺數十個所の內或は一二光力微弱なりと思考すべきものある可し是等は其必要に應じ漸を逐ふて改善するの方針なれば之に關する忠告又は注意を受くるは當局者の最も冀望する所なり然り而して彼記事を見るに事實を擧ぐるを尠なくして全文怨言的句調を以て滿さる其眞意の果して那邊にあるやを疑はざるを得ず假令は巨文島燈臺の如きは光力は僅に二十二海里の遠距離に達し現に晴天の夜に當りては北閃光牛島より望見することを得るに拘はらず筆者は發的不動と謂へり但如何に光力偉大なるものと雖ども濃霧雨雪或は禽鳥蛾虫等の爲めに一時其燈火を遮蔽せらるゝを無しとせず此等は燈臺看守記事に登載して後日の證左に供するものなれば果して筆者の言の如き事實ありとせば其時日を明示され度きものなり

次に纂邁島南燈臺の外洋の燈臺に比して光力微弱なるは距離なり然かも之を以て看守の怠慢に歸するが如きは謬見の甚しきものにて河川港灣の如き航路の範圍狹き場所には夫相應の燈標を以てするとは苟も海員の心得ある者の知らざると無き筈なり況しや飛激島燈臺の如きは新式の裝置にして鎭南浦に出入する者に貸する大なるとは一般航海者の常に認むる所なるをや最も大同江に出入する船舶は近年急速の進步を示すを以て其の航路標識には將來改善の必要を認め既に之が計畫を立てつゝあることを茲に附記し置く可し



講談

大岡政談　越後傳吉　第二十四回　旭堂南陵講

金「ナアーに、五十兩の金子なんだから五十兩さへありやアそれで宜いのだ、種類は何でも構はない、何うせ此樓へ拂ふのだから　傳「それでは、只今持て參りますから、何ぞれ騷ぎにならぬやう願ひます、三浦屋の二階で金子が紛失したと言はれては誠に困りますから　金「イヤ、それはお前が預かつて居てくれたのなら安心だ、矢張り御意見番に限る、外の者と違つて斯ういふ點まで氣を着てくれるとは有難い……オイ花魁　可「何ざます　金「安心してくんな、到頭五十兩の金子は出た、この傳吉どんが火鉢の上に置いて間違ひがあつちやアいけねいといふので、ちやんと店の帳場へ預かつて置いてくれたッて　可「それ御覽なさい、貴所のやうにそんな大きな聲を出して若い衆を責めるものぢやアありません、だから妾がさういつてるんです、靜かにお調べになつて宜うざますといふのに……　金「イヤ、さうお前にいはれると困るが現に角金子が斯うやつて手に入つて見りやア安心だ、ナア傳吉どん、氣直しだ一盃やらう」傳吉がちやんと五十兩の金子を渡して置てすんなり二階を降りてしまひますと、金之助は悉皆機嫌が直つたと見ゑて直ぐに酒肴を取寄せ花魁對手に一杯飮まうとしてゐるところへ新造衆が參り其の邊を一寸片附けやうとすると夜衣の間からゴロッ／＼と轉がつて出たのが五十兩の金　新「アラ、一寸と若旦那　金「何だね　新「御覽なさい十出ました　金「エツ、金子が五十兩轉がつてこんな處から金子が紛失したらまた轉がつて出た、何か、何所からだね　新「夜着の袂の方から出ましたやうです　金「アッ、さうだ　可「何ざます、大きな聲を出して　金「エーイ、こりやアねらいことだ、花魁飛んだことをした、昨夜乃公は酒に醉ッぱらつて居たんだが本性違はず、この火鉢の上へ五十兩の金子を載て置いたのに、偶爾氣が着てその金子を乃公ア寢るときにポンと夜着の中へ放り込んだのを今やつと思ひ出した、それ／＼、そのお金子だ　可「それ御覽なさい、だから貴所のやうに騷ぐものぢやアありません、他の者が知つたことのやうに、若叱り附るなんて、貴郎が惡うざます　金「乃公が惡かつた乃公の思ひ違ひだねらい邪をした併し傳吉が五十兩の金を預かつたさいつてくれたといふのは訝しいぢやアないか　可「一度聞て見なまし　金「さう仕やう……オイ一寸濟まんが番頭の傳吉さんを呼んでくれんか」と呼びにやると傳吉が早速二階へやつて參り　傳「へエ、お呼び立てゝございますが、何かまた紛失いたしましたのでは……」金「さう毎度紛失をしちやア堪りません何うも傳吉どん弱つた乃公ア悉皆間違つて居つた、考へ違ひをして居た火鉢の上に確かに置たことは置たが斯んな所に置いちやアならねいと思つて偶爾夜着の中へ入れて寢たのを今思ひ出した、その金が今夜衣の間から出て來たんで、傳吉どん何うも濟まない事をした、併しお前が五十兩の金子を預かつといてくれたといふのは、こりやア何ういふ譯だね　傳「左樣でございますかお金が出まして結構でございます、私が番頭をして居ります樓はマア惡い者を一人も使つて居らない筈です、また二階においても花魁衆から禿に至るまで、皆な三浦屋の者は正直な丁簡の者ばかりだと心得て居ります、それにお金子が紛失したといふのはコリヤ何れかへ紛れて居るに違ひがないと考へました　金「成程ど　傳「紛れて居るものは今日出るか、明日出るか、何れ出るに違ひさせぬ、そこで貴方のお金子が紛失したといはれまするも善い事は知れぬが惡い事は直ぐに世間へ知れますもののゆゑ、若し三浦屋四郎左衛門の二階で五十兩の金子が紛失したといふ事がパッと知れると三浦屋の名前に關はります、金子の紛失したといふことは五十兩や百兩の金子に替られない三浦屋の恥辱でございます　金「成程ど　傳「ですから金子は何れ出るものと心得貴郎の御氣分の直るやうに私は預かつたと申して五十兩の金子を持つて參りましたので、併しそのお金子が出ますれば結構でございます、お預け申した五十兩は戴いて歸ります」

東京電報

▲陸軍卿歡迎會 寺内陸軍大臣不在に就き奥參謀總長帝國陸軍を代表して明十七日午後二時より米國陸軍卿ヂッキンソン氏一行並に米國大使の爲めに後樂園に於て盛大なる歡迎會を開く(十六日)

▲拓殖局と韓國 韓國に關する事務は拓殖局第二部第一課にて管理する事に決せり(同上)

▲陸軍卿の旅館 昨日入京の米國陸軍卿ヂッキンソン氏は米國大使館に滯在す(同上)

▲軍醫校卒業式 陸軍々醫學校にては本日卒業證書授與式を擧行す 天皇陛下及び東宮殿下には各侍從武官を御差遣相成り卒業生九十一名中の優等者一等軍醫中島市太郎、三等軍醫鈴木修一郎、三等藥劑官鳥越正義の三名に 陛下より銀時計の下賜ありたり(同上)

▲海相江田島行 齋藤海相は江田島海軍兵學校卒業證書授與式に參列の爲め今十六日午前八時三十分新橋發列車にて同地に向へり(同)

▲勸銀預金成績 勸業銀行にては去る七月一日大藏省令に基き預金事務を開始したるが日尚ほ淺きに拘らず成績良好なり(同上)

▲韓守備隊行賞 陸軍省にては臺灣宜蘭方面花蓮港附近の戰死者十名韓國守備隊第六師團及臨時派遣隊の負傷者戰死者に對し夫々論功行賞調査中なるが其査定は日露戰役の例に倣ひ勳章及遺族扶助料を下賜すべしと(同上)

▲豫算の提出期 各省の豫算概算は例年九月大藏省に提出せらるゝも本年は八月上旬迄に其運に至るべしと(同上)

▲鐵道連絡會議 日露協約の結果八月十四日露都に於て鐵道連絡會議を開く事となり我委員は廿一日出發すべし(十六日)

歐州電報

▲載濤殿下一行 清國軍事視察使載濤殿下は露國外相及陸相を訪問長時間會談する處ありたり尚は同殿下一行は莫斯科を經て歸還

▲和國議員選擧 和蘭國議會の選擧は僧侶黨三十二名自由黨十八名當選したり(同上)

▲飛行機の破裂 有名なる飛行家ツエペリン伯の飛行器は破裂し組員五名は死亡したり(同上)

北京電報

▲清國政府抗議 支那政府は米國の後援を得て日露協約に抗議する事に廟議一決したり(十六日)

副統監と宮内府

山縣副統監は十四日千歳艦乘組員一同を帶同して韓皇に謁見せる後宮内府の觀察を爲し小宮次官以下の迎導にて大造殿の御座所を始め各室々を隈なく拜觀し夫れより大臣官房に於て宮政の過去現在を詳細に聽取せりと

官吏の風紀一變

伊藤公及び曾禰子時代には統監は何時も官邸に於て政務を執り統監府へ駐在する事は殆んど無く韓政府側の如きは如何にして勤務しつゝあるやを知らざるのみならず甚しきは諸官衙の位置さへ知らざる程の事ありしために一般役人は朝には遲刻し夕には早退の惰風を馴致せしが山縣副統監の着任するや毎朝必ず統監府へ出勤して事務を執り又着任早々韓國側各官衙の執務狀態を巡視する如き是迄には例なき事實にて此上寺内統監着任後毎日登廳して執務せば洵に官紀振肅上效果の著しきものあるべく統監府は執務室の準備上統監へ照會したるに政務は必ず登廳して閱覽する旨回答ありたるを以て十五日以來廳内の準備を整へつゝあり斯の如くして日々正副統監の恪勤を見るに至らば自然一般官吏の風紀は肅然として大に振張せらるゝに至るべし

●佛教傳道隊の來韓 西本願寺佛教大學々生韓國傳道隊員九名は夏季休暇を利用し同大學講師以下司敎指導の下に去る十五日京都出發渡韓の途につきしが一行は十七日釜山西本願寺別院に到着の上甲乙兩班に分れ一は鐵路北進して馬山統營大邱金泉太田水原の沿線傳道をなして龍山に入り一は釜山より筑後川丸にて木浦群山仁川を經て鎭南浦に上陸し衆二浦黃州平壤定州新幕開城の各地を經て龍山に入り甲乙兩班合同して京龍仁の傳道をなす筈にて在韓開敎師は應援として參加し同派大聖敎會付屬の韓人傳道員(敎育中の韓人學生)十數名も嚴開敎使管理の下に參加する由なるが一行の巡回日數は約四週間にて各地に青年宗敎家の意氣を發表し學生班の特色を實現するならむ因みに西本願寺の宿老たる島地默雷師は先般來滿洲の傳道を終へ目下三重縣巡回中なるが遲くとも九月には渡韓し傳道する豫定なりと

●慶北各地出水狀況 去る八日夜來の降雨は近來稀なる激雨にして慶尚北道慶州の地方は就中甚だしく爲めに各河川は著しく增水し河水汎濫各地との交通を杜絶する事二日間浸水及破壞の家屋は多數の見込みなり現慶州分遣所西方は河川の堤防破壞し濁流滔水數十丁に涉り田畑に被害を及せり而して主要なる道路は各所に大破を生じ人馬の交通上不便少からざるより其の筋にては同地關係の郡守面長等と協議の上人民を督勵し昨今修繕に着手し居るが尚は慶州附近を流下せる西川は二日の降雨以來未だ平水に至らざりしに六日以來の降雨にも更らに增水し七日より九日に至る間は同地より永川方面の主要なる交通は杜絶し十日午後五時頃より徒涉し得るに至りしも之れが爲め永川慶州間の郵便物は二日間遲着するに至れり尚は永川の琴湖江は約九尺餘の增水にして永川より發する郵便物は二時間遲滯したりと

●小茅島燈臺の新設 關稅局告示第百十五號を以て全羅南道小茅島燈臺左の如く新設さる

一 隆熙四年七月廿日より韓國南岸全羅道莞島の南方四浬に位する小茅島に建設せる燈台に於て點燈を開始す

一 燈臺の位置は日本海軍水路部刊行海圖第三百四十號に依れば如左

　北緯 三十四度十三分三十九秒

　東經 百二十六度四十六分十六秒

一 燈塔は混凝土造圓形にして白色に塗り其高さ基礎より燈火まで十五尺なり

一 燈火は第六等白色「アガ」式明暗燈にして燈光發射の時間は 明間〇、三秒暗間二、七秒なり

一 燈火の中心は高潮平均水面より高さ一百尺にして暗朗の夜に際し水面上十五尺の上にある觀測者は十海里の距離に於て始めて之を視ることを得るなり

一 燈火は北三十五度東より東南及び西を經て北八十度西まで二百四十五度間を照輝す

但 明派は海上より燈臺に向て方位は磁針を以て測定す

注意 本燈明機械は一度點火するときは十箇月間保持し得べき構造なるを以て常に看守員を置かず故に萬一燈火消滅するときは再び點火する迄多少の時間を要す航海者宜しく注意すべし

●東拓縮少說に就て 時局の進展に伴ひ東洋拓殖會社の縮少せられんことは昨年中に見へしが是れ蓋し自然の勢にして韓國の統治權が尚具体的に明瞭ならざる内は官權を以て万般の處理を周到ならしめ難き點多く乃ち拓殖會社の如き半官半民とも云ふべき政府の保護の下に存立する一機關をして其缺陷を補足せしむる必要を生ずる義なれど既に適從する處の闡明せらるゝ上は權能の不備より來れる諸點は自から消滅して補助機能の働き縮少するの譯にて拓殖會社縮少の說は早晩事實として現はるゝ事なきに非ざるべしと

●各地客舍の利用方 韓國にては各郡に必ず一個の客舍なるものあり孰れも比較的廣大堅牢の建築物にて之を利用すれば學校公會堂等に充て得べく最も重宝の造營物なるも同家舍には從來闕牌(皇室の位牌)の奉安せられあるため他に使用出來難く可惜ら建築物も持腐りの有樣なりしが今度内部宮内府協議の上此闕牌を各觀察道に讓り渡して道廳内に保安することゝし家舍は所要に應じて利用せしむることゝなりたれば便益甚だ多かるべしと

●現行韓國法典製本 度支部にて編纂中なりし現行韓國法典は已に脱稿印刷に付し製本も出來上りたるが總頁數三千五百頁に達し國制典、禮公、文式、官報、印章、官制、分課官規、民事、刑事、財政、商工、地方制度、警察、衛生、敎育、軍制、海軍、條約委任、行政等に分類せられありて製本の美と相俟つて洵に得易からざる法典にて苟も韓國に志すもの必ず座右に備へ置かざる可からざるものなりと

●本年度治道の延長 隆熙元年以來本年度に終る繼續治道工事は或る特殊なる局部を除くの他豫定の如く本年内に全部落成を告ぐる筈にて其延長約二百十里而して本年度内地方費及國庫補助に俟つべき同延長は約五十里にして國庫は之に對し九十萬圓の補助を與ふべき豫定なるが夫の目下懸案中なる京城内道路一部大改修の決否如何により既定五十里の外更に幾十里の增延を見るに至らんと

●金弘集追悼會施行 去る明治二十九年二月十一日の事變に鍾路の街道に於て兇徒の毒刃に觸れて悶くも無慚の最後を遂げたる故内閣總理大臣金弘集の追悼會は十五日正午より南部美洞の金奎熙氏の邸に催したるが高度相趙農相李學相閔宮相等參列す

●韓皇室の中元賜品 韓皇は宮内官一同に對し一昨十四日織物一疋宛を御下賜あらせられたり尚ほ同時に皇宮警察署長呼子警視以下にも同樣御下賜相成りたるが其身分警務總監部所屬なるを以て統監府へ拜受する差支なきや否やを伺ひ出でたりと

●仁川の千歲歡迎宴 仁川八阪樓に於て一昨十五日午後七時より目下碇泊中の練習艦千歲艦長釜屋大佐以下重なる將校十五名の歡迎會を開きしが出席者は橋本副理事官を初め重なる官民新聞記者等約三十五名にして主客打寬ぎ頗る盛會なりき

●憲兵隊の事務開始 各道に於ける憲兵隊及び警察部は夫々事務を開始したる旨司令部に電報あり從つて各分隊各分遣所並 警察署も着々開始の運びに至れりと

●學部の夏期講習會 學部は各道普通學校に於て夏期講習會を開く由希望者は此際至急當該觀察道に申込まるべしとなり

●宮館署長の訓示 仁川署長宮館警視は一昨十五日市内の各衛生組長及び府内面長洞長等に對し塵芥容器の備附け亦たは破損したるものには修理を爲さしむべき旨示達したりと云ふ

●内部次官の淸宴 宇佐美内部次官は西小門内官舍に卜居せるに付十五日夜朴内相、澤田、柳局長以下各課長以上を新邸に招待し懇親の淸宴を張れり

韓一銀行業成績

資本金五十万圓(四分の一)
拂込積立金三萬一千圓
前半期繰越金七千六百七十圓
專務取締役 白寅基
支配人 金鎭玉

支配人金氏は巧みなる日本語を以て本年上半期の純益金は一萬五千二百余圓で、前期に比して聊か劣つたといふのは毎年上半期の寂しいといふ一般の例以外に當行には係るといふ理由があつたのです第一當行の預金の最多額は定期預金で、夫れを前期の利率八分で預つたのを、當期に入りて年七分、六ヶ月六分、以下は五分五厘に引下げ、貸金の利息も引下げたが、預金利子は矢張り八分で支拂つたのと、第二には、韓商人は追々日清人との競爭に打勝けて木綿、穀物等は勿論、從來韓商人の獨占したる明太魚の取引すら多くは、日清人の手にて營まるゝやうになつたので之等商業資本の貸出が大に減じたのみならず、當行が十錢以上の貯蓄預金を盛んに奬勵したる爲め之れも大分の額に上り、總て二十萬位の遊金を抱へてゐたなどが重なる理由です、これで配當は一割、現在の貸金は六十余万貸出は五十萬未滿です、と詳細に説明した、記者は此の應接の間に、敎育されたる韓人は銀行の經營に堪ね得ることの確證を與へられた其の例として記者は舊日語學室の卒業生たる韓一銀行支配人金鎭玉其人を擧げやう、

●萬朝報記者入京 萬朝報記者川尻東馬氏は韓國政況視察のため十五日午前着京し不知火旅館に投宿したり

●學校組合の認可 三井菊次郎氏出願永同學校組合設立の件十五日付認可

輸入金巾現況(二)

(關稅局の調査)

上海より韓國に輸出せらるゝ迄の諸掛費

(イ)倉庫より船舶迄の運搬費

一梱七九錢、一箱大十八錢、小八錢

備考 倉庫と棧橋との距離の遠近により差あるは勿論なるも茲には普通のものを記したり

(ロ)報關行手數料(通關手數料)

稅關貨物取扱人が日本人なるときは船舶荷證券一枚に付墨銀一弗、支那人なる時は七八十仙歐米人なるときは二三兩

(ハ)保險料、百兩に付き一兩五十錢

備考 右は日本經由の場合に於ては保險料にして上海より韓國へ直航の際少しく低廉なるも大差なし

(二)運賃容積噸一噸に付墨銀八弗元山又は仁川迄何れも九弗淸津迄十一弗

備考 右は日本經由の場合に於ける運賃なるも韓航の臨時船に托送するときは二三割方低廉なり

(ホ)關稅 韓國に於ける洋金巾の輸入稅は從價七分五厘淸國にては洋金巾再輸出の場合になる出稅を課せらるゝこととなるも勿論該洋巾の價入稅を拂ひ且納稅後三年以内のものなる時は輸入稅の拂戻を受くることを得(完)

●北韓電氣計畫進捗 大阪の豪商右近權右衛門幷に淸津港居住淺岡重喜氏外六名の發起にて淸津羅南間に一大電氣事業の計劃ある由は既に報せし所なるが右は愈々總資本金五十萬圓にて北韓興業株式會社なるものを設立するに決し既に電氣供給事業許可に就ては統監府を經由して韓政府に出願し一方敷地借用に就ては陸軍當局に出願し目下詮議中なりと今請願書に依る事業計劃の内容を聞くに淸津羅南間十一哩五鎖の電氣鐵道を敷設し乘客貨物の輸送を行ひ併せて羅南淸津兩市街に電燈及電力の供給幷に電氣機械器具の販賣を爲し電氣鐵道の分は現存せる陸軍省所轄輕便鐵道を改築して震動車及貨車を運轉せしむる計劃にて勾配は三十分の一を限度とし軌道の間隔は二呎六吋動力車には二十五馬力の電動機二臺を裝置し列車進行最大速度は一時間十五哩なり因に同會社認可の上は直ちに工事に着手し來る十一月三日の天長節迄には電燈を供給したき希望也

●群馬共進會の規模 九月十七日より開催さるべき群馬縣主催の一府十四縣聯合共進會は韓政府も之に參加し既に出品物は名古屋の全部及福岡の一部を轉送して其不足又は交換を要すべきものは更に追補すべく農商工部は其出品費五千圓を支出し目下準備中なり而して該共進會の規模を聞くに敷地は約二萬坪にして建物は陳列館のみにて四千百五坪其外審査室事務室式場等の附屬建物あり總費豫算は約五十萬圓にして建物に要せる費用は九萬九千四百七十圓なりと同會の特色は最も堅實を主とし主催地方の特產物たる蠶糸織物染色等は一頭地を抽んでたるものあるべく又鑛業畜產水產の三部は名古屋共進會には其設けなかりしものなり韓國館は參考館の一部にして坪數約三十坪を充當する事となれりと

●外國貿易上半月報 七月上半期に於ける韓國貿易關稅局の調査左の如し

區別		本年分(本月上半月分) 圓	前年同期 圓
輸出品價	內國產	三三四、〇八七	四四九、一六八
	外國產	一三、四一二	一九、五八六
	計	三四七、四九九	四六八、七五四
輸入品價	外國產	一、〇五〇、〇二四	一、二九八、七五四
	內國產	三〇七	二〇六
	計	一、〇五〇、三三一	一、二九八、九六〇
輸入超過		七〇二、八三二	八三〇、二〇六
通過貨物價額		一五、五九二	……

本年貿易額の港別左の如し

本月上半月分

港別	輸出額 圓	輸入額 圓	計 圓
仁川	六五、九七八	四三九、五七一	五〇五、五四九
釜山	八五、七七五	一八一、九二〇	二六七、六九五
元山	三四、〇六五	一〇五、四一四	一三九、四七九
鎭南浦	六七、〇三〇	四〇、九七六	一〇八、〇〇六
京城	三、一九九	一〇七、六六九	一一〇、八六八
群山	一二、四〇三	一六、七九九	二九、二〇二
木浦	一一、九七七	二五、七一三	三七、六九〇
馬山浦	七〇六	一三、九六一	一四、六六七
淸津	二、五二二	二八、八九七	三一、四一九
城津	八、三七五	一四、〇八九	二二、四六四
新義州	四一、五三七	二五、八〇〇	六七、三三七
平壤	一三、九六四	四九、四六三	六三、四二七
計	三四七、四九九	一、〇五〇、三三一	一、三九七、八三〇

●北韓各地害虫發生 平安北道警察部長よりの報告に依れば管下鐵山郡車輦館地方に於ては近來農作物殊に麥、粟、玉蜀黍に一種の害虫(體長三四分より八九分にして其色稍く頭部稍大く赤黃の混合色にして韓人は之を天虫と謂ふ)發生し漸次繁殖しつゝあり該虫は昨年八月頃一般に發生し其被害多かりしものと同一なるを以て農民は大に憂慮し居れりと▲又咸鏡南道北靑郡泥谷、星岱面、揚川面上甫靑面に浮塵子、夜盜虫發生し目下被害調査中なるか一面被害區域人民をして驅除を勵行せしめつゝある旨同署記官より報告ありたり

●仁川電氣重役會議 仁川電氣會社重役會議を再昨十四日開會種々なる案件に就て凝議したるが結局同會社は公共的意志を以て設立したるものなれば今後に於て如何なる方面より買收の交涉ありと雖も斷じて讓渡せざるべきを議決したりと云ふ

●トロール漁船取押 當地永樂町小島嚴は函館服部某より漁船一隻を借受け仁川近海に於てトロール漁業をなし既に七十五貫目餘を捕獲せしを禁止區域内とて仁川稅關に於て取押へ目下其の手續中なりと

●仁川の人力車取締 仁川港に於ける現在の人力車數は五十餘臺なるが乘車賃區々として一定せず土地不案内の外來者等に對しては不當の賃錢を貪る者あるにぞ仁川署に於ては昨日右人力車組合の取締を召喚し說諭の上賃金を一定せしめたりと云ふ

●伊太利武官の訪問 東京伊太利大使館附武官コロネルカヴイグリエー氏十六日山縣副統監に挨拶の爲め統監府を訪問せり

●木浦丸出帆と乘客 仁川を一昨十五日出港せし木浦丸にて光州憲兵隊長笠少佐、木浦司吉弘少佐は夫々赴任の途に就きたり

●梅法學博士の入京 韓國法典調査囑托の法學博士梅謙次郎氏は十八日入京する筈なりと云ふ

●松崎藏之助氏入京 平壤地方視察中なりし法學博士松崎藏之助氏は十五日入京京城ホテルに投宿

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
十六日	一一六、八四三、〇六	二〇四

▲治外法權▼ 今度の日露協約は昨日の本欄で一寸言つた樣に公表された三ヶ條だけで云ふと、ドウモ物足らない樣な氣がする、而るに内地新聞紙の議論や所謂諸名士の協約評を見ると何れも之れで今後我邦が、滿洲に於て、自由手腕を振ふことが出來る樣になつたと云ふて居る、樂天も此迄遣めば實に目出度ことだ▲制限されたる自由手腕、ソレを振ふ爲には協約も何も要つたものではない、協約、若し夫れを必要とするならば其必要は外にありだ、見玉へ我政治家中撫順の石炭は租借期限内に採掘し終らねばならぬと主張する輩が幾らもあるではないか、曾禰前統監抔も主張者の一人で理由を聞けば飛んでもない弱いソウして馬鹿な議論を云ふ、斯の如き弱い輩を安心さす爲には協約が必要かも知れぬ、併し其協約は今度發表された以上のものでなくてはならぬ▲軍艦生駒で南米アルヘンテナ共和國へ行つた連中は何れもア國の美人や酒や賭博に驚かされたべきことは同國の乞丐が皆乘馬である事だ、處變れば品變る、モー一ツ驚くことだ、ア國元來馬の名產地、而かも馬を飼ふに天然の飼料餘りあり、コレ乞丐迄が乘馬を持つ所以だ▲當地天理教會で戊申詔書の拜讀講義をやるソウだが極めて結構な事だ、不規律不徹約は生活上一種の罪惡だ、此罪惡を矯正するは今の京城に於て最も必要だ▲統監府や鐵道の役人が帶劍で正當防禦決鬪乃至腹切り等をやつたものが一人もない、栂の横櫛ワシヤ伊達にさすかを缺いたソウだ、京城の正副統監歡迎は外觀よりも誠を込むる樣にしたい。

東京電報

▲米陸相の參内 米國陸軍卿は本日參内し豐明殿に於て午餐の御陪食仰付けらる(十六日)

…陸司令官以下本日大更迭ありたり

商業會議所にては二十日頃役員會を開き勤務店員表賞の調査をなす由なるが今日迄に店主より申出でたる者五十餘名に達したりと

▲蒲穆(參謀本部騎兵大尉)十五日仁川より入京蒲尾旅館へ投宿
▲齋藤省三(技師)十五日釜山より入京
山本旅館へ投宿
▲水谷千萬吉(海軍中佐)十五日平壤行
▲釜屋六郎(千歲艦長大佐)十日仁川行
▲寺平宮吉(春川憲兵隊長)十五日歸任
▲平野忠藏(鐵原憲兵分隊長)同上
▲宮本賢祥(金化憲兵分隊長)同上
▲錢井篤之助(福岡縣港務獸醫官)十五日水原行

●病院長の披露宴 仁川病院長由利弘及び長尾乙二の兩氏は今十七日午後七時より重なる官民を仁川倶樂部に招待して披露の宴を張る筈なりと

東京電報

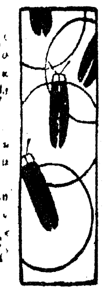
軍卿は本日參內し■■■に於て午餐の御陪食仰付けらる（十六日）

▲米陸相の參內　米國陸軍司令官以下本日大更迭ありたり

商業會議所にては二十日頃役員會を開き勤續店員表賞の調査をなす由なるが今日迄に店主より申出でたる者五十餘名に達したりと

▲蒲穆（參謀本部騎兵大尉）十五日仁川より入京蒲尾旅館へ投宿
▲齋藤省三（技師）十五日釜山より入京
▲山本旅館へ投宿
▲水谷千萬吉（海軍中佐）十五日平壤行
▲釜屋六郎（千葉艦長大佐）十五日仁川行
▲■■■■（■■少佐）同上
▲寺中宮吉（春川憲兵隊長）十五日歸任
▲平野忠廣（原州憲兵分隊長）同上
▲宮本賢祥（金化憲兵分隊長）同上
▲■井鐵之助（■■縣港務獸醫官）十五日水原行
▲■■■■■■■■■十五日仁川行

●病院長の披露宴　仁川病院長由利弘及び長尾乙二の兩氏は今十七日午後七時より重なる官民を仁川俱樂部に招待して披露の宴を張る筈なりと



食逃の多い京城

▽算盤運者な大官連

治外法權子が毎々申す如く京城に居る日本人程歡迎送宴の好きなものはない、好きなものが好きな事を自分の財で行るのだから敢て痛癢筋に痛癢玉を結び附けて辰己上るには及ぶまいと仰云る方もあるか知らぬが夫れが決して左樣でない自分が好きな事をせんが爲めに好かぬ人をまで疑理から引つ張り出す、此の運中の心理狀態に二種ある、一は獨力で藝妓を招び酔を估ふには餘計な財が費るから常に此の種の機會を見付けてタヾ、ニフン、でスマワン、とのみ心掛るもの一は地位名望ある人の名と顏とを知り其の人に自己の苗字を知らるゝを光榮とするものとである、一は卑しく一はアホらし、此の卑しきアホらしき伴侶とせらるゝ事頻繁なものは怒るべき道理だ、而して前者は常に成功するも後者は到底失敗する、と云ふのは歡送迎を受ける程の高位高官連に送迎を受けたる人の名と顏とを記臆する程に間拔けたチヨボ一はれ生憎樣である、例令記臆し居るとするも夫れは當地に居る間だけだ結局自分の地位と社交上の信用とを繫ぐ爲めの手段である、其狀恰も平家內閣の强ひられた連袂辭職後出齣持と成り下つた三位中將維盛君が彌助君の長女れ里孃に與へたる待遇と一般證する所憎けないれ憎けである、證據は歡迎宴に對しては答禮するが送別宴に答禮するものがないに徵して明かである、今日から居ないんだ何うでもなれの調子が目に見ゆる如である、見送りの御禮も端書ちや高く附くから新聞の廣告で間に合はす其の廣告も字數を詰める行數を詰める更らに新聞を限定する、此の種の新聞廣告なるものは所謂算名伺洩れも許り難いとか、又は一般に謝意を表する趣意から出すものであるから普く行き渡らねばならぬものだ、が彼れ等の趣旨は元來云樣でなく言ひ譯さへ立てば善いと云ふのだから斯う成るのだ、最も歡迎者も送別者も上述の趣旨で此の間に些の誠意がないのだから夫れを受ける方に誠意のある譯がないのは當然であらうが兎に角其招待に應じた以上見送て甘受した以上は誠意の有無は論外である、食ひ逃げは不可ない、取り別け平民共の酒食を食ひ放して逃げるのは善くない、就中同縣出身者が同鄉の先輩に對し敬意を表して爲したる歡送迎の食ひ逃げは不都合とよりは不埒である、官位が高く地位が上だからとて同僚や部下や他人の物を只食つて食はしたから食つた迄だと濟し返るのは陋劣だ、若林君も岡君も松井君も行つた如だ、併し一人一個で悉くに返禮するは堪へ得られぬことは勿論だが夫れなら何故漢城府なり民團なりの教育基金へでも堪へ得らるゝ程度の寄附をして謝意の一端を表示せぬか、と憎まれ口を叩いて後者を戒めて置く（ひの字）

郵便物の監獄巡

▽半月以上掛つて疲勞た郵便物が漸く鐘路へ

本町七丁目陣野方辻本とくが鐘路監獄に瀆職及横領罪被告として在監中なる所夫元刑事巡査辻本茂左衞門に宛て去月中差出したる郵便物が漸く本月十五日に至り配達されたる珍事あり本町七丁目より鐘路監獄間の道程が果して何程ありやは確實に知らざるも先づ日本里にして一里の外に出でざるべし如何に何人でも少々遲過ぎる樣に思はれたるより仔細を探ぐり見しに北海道十勝郵便局より釧路監獄に配達せられ更らに根室監獄から同分監と郡町事にも數ケ所を經回りて疲れた脚を引き摺り〳〵京城局に舞戾り漸く完全に光化門局に回送されトホ〳〵然として地方裁判所檢事局に辿り着きたるものなれば半月の餘も掛つたのは當然なり、併し夫れは當然としても鐘路監獄宛のものを北海道へ回したのは無論故意ではあるまいが不注意なり釧路監獄と鐘路に配達したのなら善意の解釋と見るを得べきも鐘路とある釧路に回すとは人間には考へ附かぬことなりとは素人の云ひ草なり事實は忙がしいから無理はないのさ、思へば薄給切り詰めの區分掛りが

殺人敎唆事件公判

▽北野安次郎は無罪

氣の毒なりし同事件は爾來數日に亘りて報導したる控訴中なりしが愈々十六日京城控訴院に於て楠判事深澤檢事立會の上判決申渡しありたるが北野安次郎の殺人敎唆罪は原裁判を破棄し無罪を宣告され米田辰造は殺人豫備爆發物違犯に付懲役一ケ年に外二人に對しては各六箇月に處すべき旨何れも原判決を取消し宣告あり、猶は同人等の拘留日數米田百八十日他二人は各百二十日をも刑期に算入する旨申渡されたり

李在明は上告するか

▽人は殺すが死るは厭

兇漢李在明及其連類の控訴判決は既報の如くなるが其連類中李容九暗殺主謀者金丙鉉（懲役十五年）李容九及李完用暗殺共謀者吳復元（懲役十年）朴泰般（同七年）金泰善（同十年）金龍文（同七年）の五名は之に服し尙は李在明外三名は服否未定なりと而して上告期限は明後十八日迄にして三日間の餘裕あれば獄中に於て頻りに煩悶し居ならんと

恐喝取財豫審終結

▽十六日起訴せられし川合、多田、北島、楠本等四名が司法顧問山崎喜一を恐喝取財したりと云へる事件は十六日豫審終決し兩角檢事に依りて起訴せられたり

自ら招きし天罰

▽他を怨むは押が太い

西部毛橋坊朴光鎮（三九）は日本に永年間在留して日本語に精通し居る者なるが常に他人を詐き金品を騙取し居りしを西部署棚橋刑事の探知する所となり檢事局に送られたる事件を聞くに黄金町一丁目井出三郎なる者昨年一月頃麻浦附近に家屋幷に地所を買求め度き旨織居商店員港某に話したるに港は朴光鎮と懇意なるより其旨話したるに朴は金鎬基なる者の家屋幷に地所を周旋すべければ運動金五圓丈け與れと云ふより港は之れを渡したり然るに朴は他人の手を經ては都合惡しきとて直接井手と談判を爲し金鎬起當分貸却の模樣なきに付息子の放蕩を辛び金を貸して費消せしめ貸却の契約を爲さんが好策なりと稱し井手より金百九十五圓を受取り一向買受けに歩を進めぬより井手は怪しみ居りしに金鎬基には息子のむの字も居らぬ事判明し井手は全く騙取されたる事判明せしより檢擧せられし由なるが井手の行爲も他人の子息の放蕩を利用して家屋を買上げん杯の策は餘り感服せざる事なる可し



女振り

高畑庸氏夫人

高畑はま子

高畑君は現在の法政新聞社長である元統監府警部で地方に駐在して居たが或る事により統監府と衝突し一蹴する程の一風變つた人物である、夫れから熟々官海生活に愛想を盡かしたのであるとか、外見は蛭子然たる肥ねた顏に人さへ見ればニコ〳〵笑を湛へて頗る世辨も上手だが夫れは浮世を忍ぶ袖頭巾、資質は頗る附きの性急である、更らに晩酌後と來たら耐らぬ、所謂外柔內剛である、耐らないのは夫人だ、慶應元年五月の出生原籍は東京本鄉區湯島天神町一丁目、ヘンジン樣の氏子であるとは惡い洒落だ、夫人の本姓は田內と云ひ兵庫縣宍粟郡吉萬村の產本年三十歲であらるゝがれ美しいから二十三四如何に踏み倒しの女振り子に見せても廿六以上には見はせぬだらうと云つた人がある、一寸此所では我輩古い事は存せぬが本年二月頃結婚せられたのだ、某高等官の家事取締りとして居られたとか聞く、此の夫れ迄は何んでも某高等官の家事取締りとして居られたとか聞く、此の激しい氣質を有する庸君として其の手腕を施すに餘地なきまでに巧みに調和接觸して行かるゝ所を見ても其の人と爲りを知るに足るであらふ、はま子さんの御得意は料理と活花とである、而して又頗る經濟家であるとか、此れは慥かに庸君の希望に副へる重大要件であらふ、庸君が神道の何教正で金貸を兼業せることは既に明白な事實である。

●馬丁上りの小泥棒

▽朋達の物はかり覘う

埼玉縣北崎玉郡加須町三百七十二番地當時曙町九十八番戶西山只七方居住木村善一（三〇）は渡韓後棚口に困難し居りしを憲兵某將校の厚き同情に因り馬丁に使役せられ居りしに因り六月十五日限り解雇せられ以來一定の職業なく前記西山方に食客となり居り馬丁在職中の知人なる元京□分隊付杉山中尉馬丁松田勝次が主人の平壤に轉勤に付連れられ行くに際し出發準備を爲し衣類其他の荷物を取集め馬丁室の柳行李に格納し置きしを七月十日の夜隙に乘じて竊取し西山方に付郷里より送付し來りしと詐稱して預け在中の衣類羽織一枚を十一日午後二時頃長谷川町百七十三番戶山本清太郎と僞名し太平町一丁目四十三番戶質商淸水藤吉方に金一圓にて入質し飲酒料に費消し又六月三十日午後一時三十分頃大橋大尉の馬丁宮村彦九郎方に遊びに行き同日夕食の饗應を受け午後十時頃迄雜談を爲し宮村が熟睡したるを好機とし同人の和服の袂より金六圓二十五錢を竊取し仁川に至り料理屋淀川樓に於て費消したる事發覺し一昨に京城第一憲兵分隊に檢擧せられ檢事局に送られたるが秋場檢事の手にて起訴され來る十八日公判開廷ある筈なり

●竊盜ばかり四件

西部阿峴百二十統十三戶古物商劉滿祈（二三）は南山町二丁目百十二番戶度支部主事早川菊丸方に忍び入りチル卷疑を竊取し逃走せんとする處を早川に取押へられ警官に引渡さる▲七月十六日午前四時十分頃曙町を巡視中の南部署桑野巡査部長一人の擔軍卒箱を負ひ運搬中怪しと認め取調しに本町町田文林堂前に置きありしを竊取せし旨自白犯人は金永過（五三）▲京畿道抱川郡下松隅坊李白化（二三）は本町七丁目京城座前一六號賣所より洋服上着一枚外三點を竊取せしを南部署刑事に探知され▲住所不定崔永洙（三九）は若草町一丁目百十八番戶正谷こと方よりバケツを竊取せし廉にて何れも檢事局に送らる

●擲られた上說諭

御成町百四十一番戶立邊龜次（三九）は十六日午後四時頃酩酊して附近盤石坊里門洞百七十五統八戶李德三（三〇）方に至り同人母朴姓女に共同下水修理を相談せしに一人にて確答出來ぬと云ひしに憤慨して朴姓女を毆打せしを李德三歸り來り立服して附近の韓人を呼び來り立邊を取り圍み嚢叩きにしたるより警官出張し双方說諭示談濟みす

●一錢五厘の示談

仁川桃山町居住の農業南一次（三七）と云ふは一昨日の午後十時頃杏洞の酒幕鄭字後方にて濁酒を二錢五厘餘飲みたるが懷中無一文にて其拂ひが出來ず僅かの錢金の爲め喧嘩を初め互ひに摑み合ひの最中警官驅け來り示談濟みだるが二錢五厘の無錢飲食とは近來珍とする處なり

●飲で暴れて說諭

十六日午後八時頃竹園町なる竹洞派出所前にて日本人が韓人巡査と格鬪し居る旨附近の韓人銅峴分署に急訴せしに因り警官三四名現場に出張せしに當時既に乘馬憲兵通り合はせ取り鎭め中なりしが亂暴者は金德文（二五）とて日本人服を着衣し言語も日語を用ゆる者にて金化善（二一）なる者と附近の酒幕にて飲酒し酩酊して通行人に暴行するにぞ韓巡査之を制止せんとせしに却つて暴行を働きたる者にて別に惡意もなく酩酊の上と分明したるより覺醒の上說諭放免

●馬丁は脫營兵士

新潟縣三島郡與板村四百九十一番地平民第七師團步兵第二十七聯隊第一中隊步兵上等兵小林八百吉（二四）は明治四十二年三月韓國忠淸北道城觀守備隊に在役中五月十七日午前四時頃所屬隊を逃走し所在を晦したるより爾來其筋に於て搜查中の所小林音藏と僞名し龍山某陸軍砲兵中佐の馬丁となり居りたるを京城第二憲兵分隊憲兵特務の探知する所となり七月十五日當該官憲の拘引狀を得て分隊に引致目下取調中なりと

●抽當てた貧乏籤

仁川山根町一丁目淀川樓事船越六三郎は一昨日客人を無斷にて宿泊せしめし廉に依り仁川署に告發され拘留三日に處せらる

●メソヂスト敎會

旭町二丁目同敎會にては十七日午前九時より日曜學校同十時半より開城黃州敎區傳道師として赴任の途滯在中なる寬光顯氏の禮拜說敎「神に見ゆ」同午後八時より同氏の傳道說敎あり尙ほ先週中平壤鎭南浦黃州方面巡回中なりし木原牧師は既に去る金曜日（十五日）歸京せられたりと

●日本基督敎會

旭町四丁目同敎會にては十七日午前九時より日曜學校同十時より石原牧師の禮拜說敎「イエスの試み」午後八時より同牧師の「天の父」なる傳道說敎ありと云ふ參聽隨意

●京城基督敎會

日の出町同敎會にては十七日午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の禮拜說敎「信仰」午後八時同師の傳道說敎「感謝」ありと云ふ

目と耳

▲壽座　十七十八兩夜の代り番組（十七日）御祝儀福の神（一場）狸後家（三場）一休問答（二場）ハウスキーピング（三場）引祝引拔き松踊り（十八日）資の入船（一場）美人局（二場）夜光の玉（三場）ラブレース（三場）御好により大切忠臣藏大序より七段目迄四十七分間

▲歌舞伎座　既報の如く同座に乘り込みたる奇術の名手宮岡天外一座初日（十七日）の演技番組左の如し
袋脫けの大奇術、生花滿開の奇術、空中夢の美人、メスメリー術、舞臺の村雨噴水の曲、メリケン、ハット曲、所作事万倍早替り、天國の夢、シコウノカルタ、光線應用之部、フワイヤーダンス、羽衣の舞、胡蝶の舞、美人モデル、日本式浦島長唄出はやし、催眠認用之部、動物强靈術、催眠魔術外數番

▲浪花館　今回木戶場代金十錢均一となしたる同館十七日の番組左の如し
荒尾秀丸（浪花松朝）澁川武勇傳（吉田播葉）筑前騷動（吉川秀叡）幡隨院長兵衞（岡本伊之丸）いかるが平次の傳、義士本傳通し（吉川秀廣）

今日の運勢

七月十七日舊六月十日二黑先負癸未建△一白新事見合せの事保證受印中裁判傳世話事を禁ず△二黑新事見合せの事物事曖明かぬ日なり酒色の害を戒む△三碧業務上過失疎漏あり旅行新事見合せの事△四綠情勞苦失損あり證券調章の事に注意△五黃世話保證を禁ず屆人從者の事注意すべし△六白快欣の日大抵吉療病衞生に留意すべし△七赤利益を得る日賣買取引進んで吉屋入れ入學門婚談に好し△八白家畜從者の爲め累あり轉住旅行改革吉△九紫會見請托談合共効あり其他大抵吉
七月十八日舊六月十一日一白佛滅甲申除十方くれ△一白新事及旅行見合せの事水厄盜厄の恐れあり共同協合婚姻の事効無し△二黑不如意の事多し談議婚談請願新事旅行見合すべし△三碧利得わる日なり賣買取引進んで吉親疎の爲め散財あり△四綠會心の日大抵吉衝突不和離間の象あり△五黃運だり新事及轉更の事見合すべし尙紛爭遺失畏るべし△六白利益ある日なり但し家庭近親の事煩累あり△七赤快欣の日但し童僕兒女の事注意を將要す△八白取引金品授受貸買澁滯多し盜害紛失注意の事△九紫務して効なきの日とす新事手控への事農林業には進んで吉（本町五丁目三一館判斷）

●天氣豫報（自十六日午後六時至十七日午後六時）

東風雨後曇

十五日（華氏）最高溫度八二、〇〇　最低溫度六八、〇〇

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

無鉛
純白
最新
最良
日本一の
クラブ白粉
クラブ歯磨
クラブ洗粉

移轉御披露
京城旭町二丁目小森材木店裏
御待合 住の家
電話六七六番
是迄の住の家は夏の待合としてチト鬱陶敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粹様方の離座敷亦は夕暗の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らず御ヒイキを猶亦人目を忍ぶ君様方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を鹽見質店前に出て右に御曲りの上裏門よりとあるじ白す



祝開店七週年大賣出し
弊店儀開業以來大方各位の御引立に預り日増隆盛に相成難有仕合に奉存候就ては聊か御禮の印ごして特別の安價を以て販賣仕候間不相變多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
美術、書畫、襖、壁、天井張、
京城壽町一丁目
桂萬吉
(電話六二七番)
同岡崎町 矢島鐵工所筋向
桂龍山支店
(電話架設中)

御待合 紅葉
南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番

京城曙町(電話二八七番)



廣川表具店

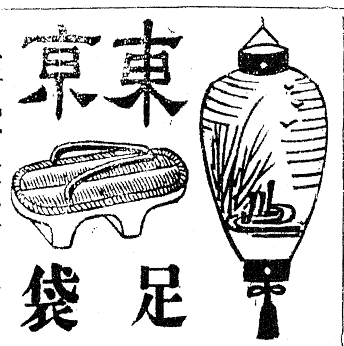
入院随意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三一五番

胃腸新薬
ヌカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

ビヤホール
氷アイスクリーム
◎登呂呂汁(御麥の御飯)
◎和洋會席御料理(御手輕主義)
旭町一丁目
度支部官舎下隣
松風軒

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ヂシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京ランバーゲ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京新橋電話三六九二



東京
足袋
本店 東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

統監府及諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
本町三 電話四〇番
南大門際 電話七三二番
大和町 電話九四八番
同第二 電話一六〇八番

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
ビール
新茶大賣出し
大上商店
(電話二五一番)

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

無比勉強
かなや わた
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
呉服太物
洋反蒲團
調進
新案特許製綿韓國一手特約店
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番

東洋拓殖會社 運送保險株式會社
明治廿年七月創業
京城代辦店 本町四 山口呉服店電話九番
資本金一千萬圓 ●事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、住吉、茨木、下市、平野
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大聖寺、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 玉島、龍野、姫路、新、西大寺、笠岡、高梁、原、廣島、岩國、府中、尾の道、三下關、萩、徳山、山口、柳井、平生、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、長府、網干、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、撫州本、撫養、徳島、川之石、宇和島、丸龜、高松、八幡濱、西條、松山、三津ヶ濱、今治
西海道 鹿方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

馬車配達
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●



銀行一般業務精々便宜取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)

韓國 本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、五島、壹岐、佐世保、嚴原
日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金一口壹錢以上何程にても御預り申升(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
十八銀行京城支店